

2021年4月22日

各位

(公財) 宮崎県産業振興機構
(一社) 宮崎県工業会

2021年度『TPS研修会』開催のご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別なご高配を賜り感謝申し上げます。

昨年度、TPS研修会を第一ラウンド（Web研修：座学10回コース）と第二ラウンド（企業訪問研修）を行い、延べ360名にご参加いただき、受講後のアンケートでも高評価をいただきました。

* 昨年度の研修実績（Excelシート④昨年度研修まとめ）をご参照ください。

そこで、今年もTPS研修会の開催を企画いたしましたので、ご案内いたします。

なお、今回は（公財）宮崎県産業振興機構と（一社）宮崎県工業会が連携し開催いたします。
業種は問わず多くの企業様のご参加をお待ちしております。

記

1. 研修内容

- (1) 第一ラウンド「じゃがじゃがTPS研修（Web研修）」
- (2) 第二ラウンド「フォローUP研修」

※(1)第一ラウンドの講座項目は、Excelシート「③受講申込書」に記載。

※(2)第二ラウンドは、上記(1)研修 或いは 昨年度受講された企業様向けです。

※(1)+(2)の受講も可能です。

2. 講師紹介

ダイハツ九州株式会社 田中 順一 氏

田中様は、ダイハツ工業株式会社でTPS（トヨタ生産方式）関連業務に携わり、
現場管理・改善・人材育成に長年取り組まれておられました。

3. 研修期間

2021年6月～2022年3月までの期間。

概略スケジュールは下記のとおりです。

区分	6月	7月	8月	9月	10月～
(1)じゃがじゃがTPS研修	▽	▽	▽	▽	
(2)フォローUP研修	▽	▽		▽	▽継続

※開催日程の詳細（正式版）は、後日、参加申込み企業様へご案内いたします。

4. 受講費用 無料

5. 受講申込締め切り

- ・ 受講申込書（Excelシート③受講申込書）にご記入の上、2021年5月14日（金）までに、下記の間合せ・申込み先へ、Eメール或いはFaxにてお申込み下さい。
- ・ なお、Zoom接続台数に制限（端末90台）がありますので、受講申込後に調整をさせていただきます。ご了承ください。

6. 間合せ・申込み先

(一社) 宮崎県工業会 佐藤までお願いいたします。

☎0985-65-6639 Fax0985-65-8885 ✉ : mia-car@mia.or.jp

【研修方法】

1. 第一ラウンド「じゃがじゃがTPS研修（Web研修）」

第一ラウンドとして「じゃがじゃがTPS（座学）」10回コースです。

これは、TPS（トヨタ生産方式）について、難しい用語を使わず初心者の方でも解り易い内容で講義いただきます。受講者の「気づき」に重点をおいた内容となっております。

また、月2回～3回、1時間／回の短時間研修となっておりますので、気楽に受講いただけます。

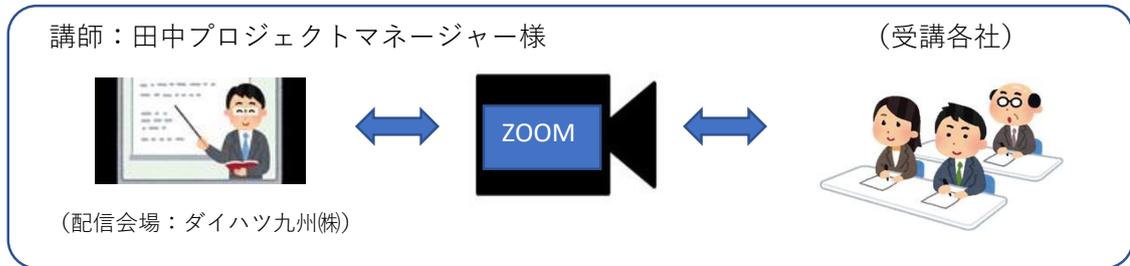
※講座項目は、Excelシート「③受講申込書」に記載しておりますので、ご確認ください。

※Web開催のため、受講各社の移動等の負担や費用面の抑制に繋がります。

※Web受講日程で都合が悪い場合は、後日、研修動画をお送りすることも可能です。

受講形式は、Web（Zoom）受講です。 毎回、開催日の2日前までに、宮崎県工業会からZoom接続案内をメールにてご連絡いたします。

※Zoomが使用できるよう、事前に各社にて準備をお願いいたします。



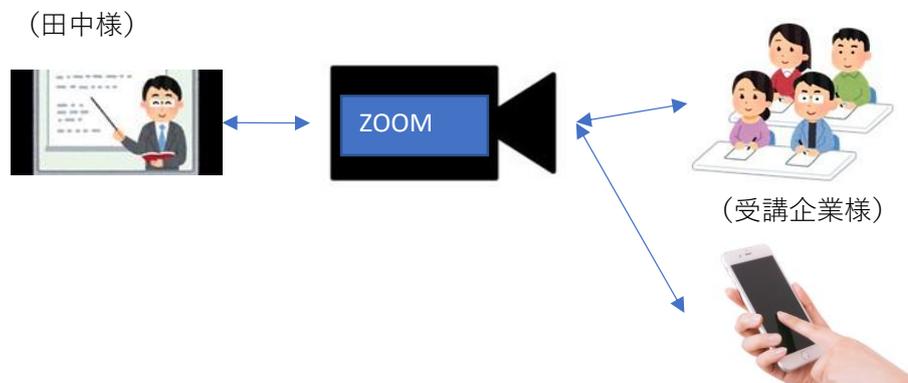
2. 第二ラウンド「フォローUP研修」

田中講師が受講企業を訪問し、企業様の問題・課題に対して指導していただきます。

訪問回数や日程につきましては、後日調整をさせていただきます。

：コロナ感染の影響が懸念される場合は、Web接続で対応をいたします。

その際は、現場確認がある場合は、受講企業様の方で スマホ参加の方に現場で動画撮影をお願いし、映像を見ながらの説明を予定しています。



※スマホ接続で現場確認

【TPS研修会 受講申し込み書】

申込先：（一社）宮崎県工業会 佐藤宛

✉：mia-car@mia.or.jp

(FAX) 0985-65-8885

申し込み期限：5月14日まで
メール又はFAXでご連絡ください。

2021年 月 日

会社名	
ご担当者名	
メールアドレス	

■受講希望研修

研修名	受講希望に○を記入	受講予定者数
(1) じゃがじゃがTPS研修 (Web研修)		
(2) フォローUP研修		

※②は、上記①受講企業 或いは 昨年度Web研修受講企業向け

※①②両方の受講も可。その場合は、両方に○印を記入してください。

■じゃがじゃがTPS (Web研修) 受講希望項目

回	分類	時間	項目・内容	受講希望に○を記入
1	管理 関係	1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sって掃除のこと？ ・管理って何すること？ ・見える化じゃなくて見せる化？ ・「IoT」で改善が進む？ 	
2		1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・ムダとロスは同じじゃないの？ ・改善活動、ほんとにやってる？ ・管理者と監督者って、違うの？ 	
3		1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・SQCD,しくみ,4Mの関係図書ける？ ・工場見学で、どこをみてる？ ・診断を間違えると、患者は危ない 	
4	物流	1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・物流と運搬って、同じじゃないの？ ・多回運搬は高いんじゃないの？ ・定時運搬と定量運搬って、どう違う？ 	
5	工程 造り	1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・「変動に強い工程」って何のこと？ ・「一人工の追求」って何のこと？ ・レイアウトって、どこから考える？ ・実空って何？ 	
6	原価 関係	1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・工場として儲かってる？ ・在庫低減で儲かるの？ ・原価と品質は両立しない？ ・収益向上活動と原価低減活動は違うの？ 	
7	人材 育成	1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・教育してるの？育成してるの？ ・指摘してくれるけど、指導してる？ ・判断と決断って同じじゃないの？ 	
8		1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなリーダーが理想？ ・どんな時に、みんながやる気になる？ ・優秀なヤツは手元に置きたいでしょう 	
9	その他	1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・それって、目的の話？手段の話？ ・結果は出るが、成果は出ない？ 	
10		1 hr	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチマーク活動って1番を獲ること？ ・料理は、いろいろ役に立つ 	

【TPS研修まとめ】第一ラウンド（座学研修）開催結果

昨年、TPS研修会（Web研修：計10回コース）を、10月15日～12月17日の間、毎週木曜日に開催いたしました。多くの皆様にご視聴いただき有り難うございました。また、開催にあたり、大分県庁様、大分県産業創造機構様、宮崎県庁様にご支援いただき感謝申し上げます。講師を務めていただきました、田中プロジェクトマネージャー様には、厚く御礼申し上げます。

さて、今回の研修について参加者数、アンケート回答等の結果報告を下記のとおりご報告いたします。

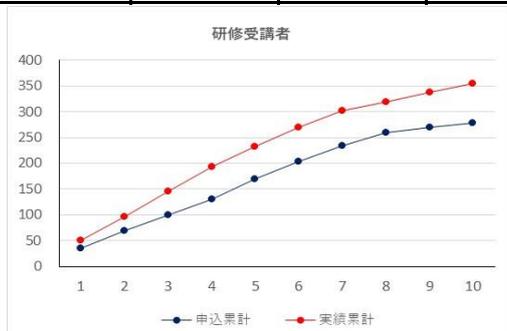
【延べ受講者実績】

【アンケート回答】

項目	予定	実績	差異
受講社数	7社	8社	+1社
受講者数	279人	360人	+81人

回答	〇気づき	気づき率	〇意識	意識率
218人	212人	97%	201人	92%

〇気づき = 受講して何か気づきがあったか？
〇意識 = 今後活かそうと思ったか？



※受講者数は、事前申し込みに対して、
+81名の方々にご参加いただきました。

※アンケートにつきましては、
197名の方にコメントを頂きました。

【研修受講感想内容抜粋】

項目	受講感想
管理関係	まずは、2Sからということがよくわかった。管理するための基準を明確にすることが重要で、できていないことを再度認識できた。 改善活動はベース固めがポイントであるということ、非常に参考になりました。自身の作業の改善を行う際に活かしてみたいと思います。
工程づくり	生産量が変わっても生産性を落とさない。まさに現状私が担当している工程で言える事であり、変動に対応できるようにやっていく。 工程にはそれぞれ一長一短の部分があり、作るもの、設備、人を複合的に考える必要がある。 改めて勉強になりました。
原価関係	検討すべき現状の評価が重要。 売上げが上がっていれば評価=〇にすると、現状の課題が見えない。 原価低減と収益改善の繋がりと違いや、原価構成に工場内の物流まで含まれるべきなど、明確になったことが多々あり勉強になりました。
人財育成	判断と決断の違いを論理的に説明してもらい、明確に理解できた。今後の指導に生かしたい。 自分が何をしたいのか、どういう組織にしていきたいのかという目的を明確にすることは重要で、これまで以上に意識する必要があると考えるようになった。
物流	物流と運搬の違いもはっきりとは理解できていなかったもので、考え方の整理を出来、ありがたかった。 今までは1回で多くの量を運搬することが1番良いことだと思っていましたが、多回運搬のほうがメリットが多いということが発見でした。
その他	工数低減という目標を決めた場合、その目標に向かっての手段を決めていかねばならないということが分かりました。 目的と手段の主従関係を明確にしなが改善活動を行わないと、結果や成果を正しく評価することができないという話は非常に参考になった。

【 講師 ご挨拶 】

研修の講師をやらせていただきます、田中と申します。

よろしくお願いいたします。

私はダイハツ工業（株）でTPS（トヨタ生産方式）関連業務に携わり現場管理、改善、人材育成に約10年間取り組んできました。

現在はダイハツ九州（株）の嘱託社員で、（公財）大分県産業創造機構に出向し、県内中小企業支援をやっています。

64歳、単身赴任9年目です。

今回の研修は、私がダイハツ工業時代に学んだこと、経験したことから「TPSをベースにした、ものの見方、考え方」について話をさせていただきます。

経験の中で、私としても「理解できな事、納得いかない事」が多くその度に「自分としての定義」みたいなものを作ってきました。

こう考えると理解しやすい、人に伝えやすい、といった内容を紹介します。

従いまして、ほとんどが「私見」であり、これまで皆さんが学んでこられた内容と違う部分があるかもしれませんので、それは私個人の考えとして受け止めていただければと思います。

「こんな見方もあるんだ」と、皆さんの新しい気づきになればと思います。

尚、私の話し方は「関西弁でタメ口」であり、少々きつい言い方に聞こえるかもしれませんが、決して悪気はございませんので、ご容赦ください。皆さんも、遠慮なく、どんどん方言で質問していただき、「会話方式」の研修になれば、理解も一層深まるのではないかと思います。

では、のべ10時間の研修、よろしくお願いいたします。